

基本方針 1－1 理解と共感を広げる情報発信と場の創出

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の実施状況	令和7年度の実施状況に対する区役所の評価	令和7年度の実施状況に対する連携した団体・区民等の評価や意見	事業の達成度
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	区内で安心して子育てができるよう、地域の子ども・子育てに関する情報を提供し、育児等の不安軽減ができるよう支援していきます。また、こども相談窓口の情報を区内の子育て支援者や関連機関・団体にも周知します。母子健康手帳交付時や転入の際に情報冊子を配布し、ホームページ（多摩区こそだてweb）や、かわさき子育てアプリに最新の情報を掲載します。	地域ケア推進課	◆「多摩区地域子育て情報BOOK」を6,000部作成しました。 ◆多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を「多摩区こそだてweb」等へ掲載しました。	◆収集した地域の子育て情報や利用者へのアンケートの意見を基に更新し、母子健康手帳交付時や乳幼児家庭の区内転入者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布しました。子ども・子育て世帯にとって必要な支援も複雑化し、情報の収集・発信媒体も多様化しているため、区ホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しました。	◆地域子育て支援センターの利用者にアンケートを実施したところ、「一冊にまとまっていて分かりやすい」「写真やイラストが多く、カラーで読みやすい」「情報量が多く、困ったときに焦らずに済む」等の意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	区内で安心して子育てができるよう、地域の子ども・子育てに関する情報を提供し、育児等の不安軽減ができるよう支援していきます。また、こども相談窓口の情報を区内の子育て支援者や関連機関・団体にも周知します。母子健康手帳交付時や転入の際に情報冊子を配布し、ホームページ（多摩区こそだてweb）や、かわさき子育てアプリに最新の情報を掲載します。	地域支援課	◆母子健康手帳交付時や転入手続き来所時等に多摩区地域子育て情報BOOKを配布しました。また、家庭訪問、面接、電話相談、母子保健事業等において保健師等がチラシや多摩区地域子育て情報BOOKを使用して情報を提供しています。	◆多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事については、保健師、助産師、栄養士等によって内容を確認し、現状に即した情報提供を行い、地域における育児をサポートしています。日頃の支援場面等で保護者が多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事を見て、相談機関に繋がるケースが多くあります。	◆多摩区地域子育て情報BOOKや各事業のチラシを見て事業に参加したという声を聞いています。	3 目標をほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	認可保育所、認定こども園の地域子育て支援事業が一目で分かる冊子を作成、配布します。また、子育てのヒントになる内容を掲載し、子育ての悩みや困ったときの参考にさせていただき、育児不安の解消を図ります。	保育所等・地域連携担当	◆保育所等で実施している地域支援情報を掲載した「たまっ子ノート」を3,500部作成し、子育て中の親子に配布しました。また、毎月の情報を「たまっ子カレンダー」に掲載し、最新の情報を届けるようにしました。さらに、「たまっ子ノート」の情報を電子化し、二次元コードで読み取れるようにするとともに、ホームページに掲載することで、子育て支援に関する情報が得られやすい環境を整えました。加えて、各園や各地域子育て支援センターで行うイベント等についても、より詳細な内容をお伝えできるようにしました。 ◆子育て情報として年4回「子育てのワンポイント」を発行しました。また、子育てに有益な情報を提供するためHPで年4回更新、紙媒体は区役所・子育て支援事業・子育てサロン等で配布しました。	◆区内保育所等施設の情報がまとまっている情報誌は、区民はもとより各施設の地域子育て支援事業者からも情報提供がしやすいと好評です。遊びに行く場所として、子育ての相談をする場所として、区民に保育所等を紹介するツールにもなっています。子育てのワンポイントは、季節に応じた生活や遊びについて掲載されており、日常における子育てに役立てていただいています。	◆毎月発行する「たまっ子カレンダー」で地域支援の情報を得ているという声が多数あり、子育て中の親子からは、発行を心待ちにしているという声もあります。また、子育て支援者から、「子育てのワンポイント」の定期的な発行を楽しみにしているという声もあります。	3 目標をほぼ達成
子ども・子育て	1	子ども・子育てに関する情報提供	保育所等の入所希望者に向けた説明動画の区ホームページ上での公開や、区内全保育施設の情報提供シートの配布など、多様な情報をアクセスしやすく、かつ分かりやすく提供して、子どもの預け先を探す市民に対し、きめ細やかな支援を行います。	児童家庭課	◆保育所等の入所希望者向け説明動画を区ホームページ上に公開しました。区内の保育所等や認可外保育施設の情報提供シートを作成し、区ホームページへの掲載を行いました。	◆説明動画では申請スケジュールや申請書類の具体的な記載方法、よくある質問への説明等を行っており、視聴することで窓口相談にお越しいただかなくても、申請書類を準備していただける内容となっています。情報提供シートには定員数等の基本事項の他、施設の構造や職員数、保育料以外の費用等、保育所選びの参考となるより詳しい情報が掲載されています。	－	3 目標をほぼ達成

第7期多摩区地域福祉計画 令和7年度事業評価シート

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	保育所等・地域連携担当	◆公立保育所3園で実施した保育士・栄養士・看護師の専門職講座には計283人が参加しました。公営の地域子育て支援センターつちぶちで行った救急法講座、食育講座には57人の地域の方の参加がありました。	◆公立保育所にて日常的な子育てに関する情報を得たり、専門職に悩みを相談出来る機会は、子育て中の家庭での育児に活かすヒントを提供する場となりました。	◆体験型講座では、家庭ではできない経験ができることが好評でした。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	地域支援課	◆子どもとの接し方に悩む4～5か月児の親子を対象に「ちゅーりっぷセミナー」を奇数月に開催しました。子どもへの語りかけやスキンシップ等、親子遊びを通した関わりを親自身も楽しむことの大切さを心理士等の講義や実践、参加者同士の交流を交えたプログラムで体験し、親の育児力向上を目的に実施しました。年間6回実施し参加組数96組。参加者には、必要に応じて、地区担当保健師や他の相談先等を紹介しました。	◆子どもとの関わり方が分からない親はどのように触れ合ったらよいのか分からず育児を楽しめず、親としての自信も失くしてしまいます。子どもとの具体的な関わり方の方法を伝えることで、親自身が触れ合うことを意識し子どもとの絆が深まり、育児を楽しむことや児の発達を促すことにつながっています。	◆事業実施後のアンケートにてセミナーの内容に対して参加者の満足度は高く、講義内容を実践してみようと思った参加者が多くいました。また、困ったときには誰かに相談しようと思ったとの声も聞いています。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	2	子ども・子育てに関する講座の開催	子育ての孤立化防止や子育ての悩み解消等を目的に、専門職による子どもの成長・食事や栄養等子育てに関する講演会等を開催し、子育て支援を推進します。	生涯学習支援課	◆育児の楽しみや悩みを分かち合うための「子育て応援講座」を、保育ボランティアなどを講師に10～11月全5回の連続講座として開催し、延べ40人参加しました。 ◆共感コミュニケーションによる自分らしい子育てを実践するための「子育て航海術講座」を、子育て支援活動を行っているNPO法人代表などを講師に11～2月全4回の連続講座として開催し、延べ24人参加しました。	◆子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、親として市民としての学びを支援することができました。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	3	バサージュ・たま	区民に障がい福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障がい者と地域社会のつながりづくりを目的として、区内の障がい者団体等による普及啓発活動（活動紹介、作品の展示販売等）「バサージュ・たま」を開催します。	地域ケア推進課	◆「バサージュ・たま」を多摩区役所1階アトリウムと登戸南北自由通路で開催しました（年22回開催）。 ◆「バサージュ・たま」をたまたま子育てまつりと同日開催しました（年1回開催）。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターで、「バサージュ・たま」参加団体の作品の常設展示・販売を引き続き実施しました。 ◆「バサージュ・たま」運営委員会を年1回開催しました。 ◆実施要綱の改正により参加要件を見直し、障害福祉サービス事業等を実施する団体について幅広く参加できるよう整理した結果、参加機会の拡大が図られ、新たに2団体の参加につながるなど、参加団体数の増加が見られました。	◆原則月2回（8月を除く）開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 また、登戸駅での開催により障害に関する普及啓発を効果的に実施することができました。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターでの常設展示・販売を引き続き実施し、参加団体の展示・販売機会を確保し、さらなる障害への理解と関心を深めることができました。	◆参加団体から、「アトリウムや登戸駅南北自由通路、多摩区ソーシャルデザインセンターなど様々なフィールドで、障害について知っていただけることがうれしい」「多くの方々に製品に限らず、施設や地域のことに興味を持っていただき、お話をさせていただいて楽しく販売できました」との意見をいただきました。また、令和7年度の要項改正により参加した団体から、「地域や他の団体とのつながりを作りたいと考えていたため、バサージュ・たまに参加することができてよかった」との意見をいただきました。 ◆区民の方から登戸駅南北自由通路での開催について、「普段区役所に行く機会がないため、バサージュ・たまの取組を知らなかった」「登戸駅で開催してくれると立ち寄ることができるので、今後も開催してほしい」との意見をいただきました。	2 目標を上回って 達成

第7期多摩区地域福祉計画 令和7年度事業評価シート

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
高齢者・ 障がい者	4	地域における精神保健福祉 の普及啓発	区内の精神保健福祉活動に関わる様々な機関が集まり、地域における精神保健福祉分野の課題を共有するとともに、こころの健康に関する課題解決に向けて、講演会の開催等、普及啓発を中心とした取組を行います。	高齢・障害課	◆前年度ゲームやSNS依存に関して若者のメンタルヘルスについての講演会を行いました。「若者へのメンタルヘルス不調の早期発見・早期治療になかなかつながらない課題」が明確になって来ました。 そこで、さらに孤立する若者のメンタルヘルスの理解を深めていくため、精神科病院に入院や通院していたり、作業所等の支援機関を利用している当事者が制作した絵画や書道・手芸・陶芸等の作品展（79作品）と、精神科病院や各支援事業の活動の様子を紹介するパネル展示（8団体）を行いました。	◆市民館ギャラリーを会場に、当事者が作成した作品を展示したことで、当事者の活動の場が広がり、当事者の社会参加に繋がることとなりました。 また、作品展示に合わせ、精神保健福祉関係機関の掲示も行い、メンタルヘルスの問題に関する状況と支援制度等は身近な存在であることを市民の方々に知っていただく機会となりました。	◆当事者の活動の場が広がっただけでなく、市民にも広く当事者の社会参加について知る機会にもなったとの御意見を頂きました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・ 障がい者	5	多摩ふれあいまつり	障がいのある当事者、団体、市民が参加し、出会い、ふれ合い、学び合いながら、障がい者や福祉活動に対する理解を深め、共に生きる地域社会の実現をめざします。	生涯学習支援課	◆「多摩ふれあいまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、6月第3日曜日開催）。 ◆「多摩ふれあいまつり」の開催にあたり、第24回多摩ふれあいまつりの実行委員会を10回、参加団体担当会議を6回開催しました。 ◆来場者約4,000人	◆区社会福祉協議会、区内障害者施設、ボランティア団体、障がい者本人・家族等が協力して、障がいのある人への理解を深めるために開催しました。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	6	多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信	自助・互助の意識醸成のため、区ホームページや広報誌等を活用し、広く住民に向けて地域福祉に関する普及啓発をしています。また、地域情報や地域における支え合い活動の広報を通じて、地域活動への関心を深め、参加促進を図ります。	地域ケア推進課	◆地域包括ケアシステムの認知度が特に低い30歳～49歳の子育て世代の認知度向上を狙って、こどもタウンニュースたま区版 2025年特別号を発行しました。 ・発行日：9月24日 ・部数：約10,000部 ・配布先：区内公立小学校及び私立小学校 ◆区役所1階アトリウム等で地域包括ケアシステムに関するパネル展示を実施しました（12月9日～12月12日、2月11日）。	◆身近にある地域包括ケアシステムの取組を小学生にも分かりやすいよう平易な表現で紹介したことで小学生への普及啓発を強化できました。 ◆読者プレゼントの応募にあたり記事を読んで回答するクイズや保護者向けアンケートを盛り込んだことで、保護者が記事を読むプロセスが生じるよう工夫しました。	◆読者アンケートの「この記事を読んで地域包括ケアシステムについてのどの程度理解できましたか」という設問に対し、回答した保護者92人のうち12人が『他の人に考え方を説明できるくらい理解できた』、65人が『説明するのは難しいが、だいたいの内容を理解できた』と回答しました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	7	健康づくりのための情報発信、講座	健康づくり・介護予防等健康に関する情報発信を行います。また、生活習慣病予防、フレイル予防等健康づくり・介護予防等に関連した講座を開催し、普及啓発を行います。	地域支援課	◆健康づくり・介護予防講座については、多摩区役所と生田出張所にて全5講座延べ129人の参加がありました。 ◆禁煙や肝臓、乳がん等の健康週間や健康月間に合わせて、それぞれのテーマに関する正しい知識や行動変容につながる媒体を作成し、庁舎アトリウムでのパネル展示やデジタルサイネージでの表示、図書館と連携した情報発信ブースの設置等を行い普及啓発を行いました。 ◆多摩区オリジナルの血圧手帳を4年間で8,700部以上(令和7年度は1,370部)配布し、区のホームページにも手帳データや高血圧予防ニュースを掲載し、様々な媒体を使って市民が今後も継続して高血圧予防に取り組めるように工夫をしました。	◆健康づくり・介護予防講座の各講座実施前後に、知識の定着度をはかる〇×クイズを実施し、すべての講座で正答率が上昇しました。事後アンケートでも多くの参加者が、講座を聞いてやってみようと思ったことを記入しており、行動変容のきっかけ作りをすることができました。 ◆アトリウム展示やデジタルサイネージでの表示、チラシの作成と配布等により、様々な媒体を使い情報発信したことで、多くの方の目に触れる機会が増え、効果的・効率的に普及啓発を行うことができました。 ◆特定健診のデータ分析では、高血圧ハイリスク者の割合の低下、生活習慣の改善が認められる結果となり、4年間の取組についての効果を確認できました。	◆事後アンケートにて、参加者のほとんどの方に「とてもよかった」「よかった」と回答いただきました。 ◆多摩区健康づくり推進連絡会議の委員である医師からは、クリニックに血圧手帳を持参した受診する人が増えてきている実感があるとの声が聴かれました。 ◆血圧手帳を使用している区民からは、「使いやすい」「今後も継続して使いたい」という感想を頂きました。また、委員の大学教授からは、「データ分析や血圧手帳等媒体の配布数から、多摩区における高血圧予防の効果が認められる結果となった」と講評を頂きました。	3 目標を ほぼ達成

第7期多摩区地域福祉計画 令和7年度事業評価シート

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	8	認知症についての正しい理解の普及啓発	認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりに向けて、様々な世代に対して認知症についての正しい理解、予防につながる生活習慣などの普及啓発を地域の関係機関とも連携して行います。	地域支援課	◆9月のアルツハイマー月間にあわせて、庁舎1階のアトリウムにて、新しい認知症観や小中学校で実施した認知症サポーター養成講座の感想などを掲載したチラシ、パンフレットを配架展示しました（9月1日～8日）。 ◆認知症サポーター養成講座を受講した子どもたちを含め、さらなる理解を深めるために小学校1校で展示を行いました（9月19日～10月17日）。内容としては、認知症関連の絵本の紹介、小中学校の認知症サポーター養成講座感想の掲示、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」の展示を行いました。	◆小学校での展示は、講座終了後に認知症普及啓発活動の一環として、対象学年だけでなく、全児童に「認知症」に触れてもらう機会となりました。また保護者の出入りの多い面談期間中の展示となったため、保護者含む学校全体の普及啓発につながりました。	◆小学校での展示では、講座を実施した学年以外の児童も展示を見たり、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」の人形や絵本に触れたりする場面が見られたとの話がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	9	快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信	食品衛生、感染症対策や居住環境の整備、ペットの適正飼養等住み慣れた地域で快適に暮らし続けるための支援体制づくりをめざします。	衛生課	◆市政だより多摩区版、区役所内のデジタルサイネージ等を活用して、区民や来庁者向けに、食品衛生、感染症対策、ペットの適正飼養等について啓発しました。 ◆区役所アトリウムで多摩区版動物愛護フェアを実施しました。 ◆外部講師（整理収納アドバイザー）を招き、高齢者向けの片付け講習会を3回実施しました。 ◆区民からの依頼により、講習会を実施しました。	◆市政だより多摩区版、区役所内のデジタルサイネージ等を活用して、区民や来庁者向けに、食品衛生、感染症対策、ペットの適正飼養等について啓発しました。 ◆多摩区版動物愛護フェアで適正飼養について資料を配布する等啓発活動を行いました。 ◆高齢者向けの片付け講習会を実施し、居住環境の整備の支援を行いました。 ◆講習会の依頼を受けて、食中毒予防、感染症対策、結核予防等について講話しました。	－	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	10	防災対策啓発事業	防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的に「ぼうさい出前講座」を実施し、市が行う防災対策や家庭でできる防災対策の解説等を行います。また、多くの区民が、災害時の備えや防災知識を習得するために、親子で楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」等を開催し、区民の自助・共助を促します。	危機管理担当	◆区民が災害時の行動や日頃の備えについて楽しく学び、防災知識を習得することを目的として、「防災フェア」を令和8年2月11日に多摩区役所で開催しました。当日は、来場者を対象に、災害時のトイレ対策をはじめとする体験ブースや展示ブースを複数設け、防災に関する啓発を実施しました。 参加者200人	◆多摩区自主防災組織連絡協議会の啓発ブースを設置し、地域における防災活動の情報発信を行うとともに、VR水害体験、トイレ対策、衛生管理、ペット対策などの多様な学習・体験機会を提供しました。これにより、多くの参加者が防災に関する知識を実践的に学ぶことができ、自助・共助の視点から地域防災力の向上と防災意識の醸成を図ることができました。	◆防災に関する各ブースでの説明や体験を通じて、来場者からは「防災に関する知識を深めることができた」などの前向きな意見が寄せられました。また、出展団体からも、多くの区民に防災の重要性を伝えることができ、効果的な啓発の機会となったとの評価がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	11	町内会・自治会加入促進への取組	転入者や未加入者へ、地域の町内会・自治会活動を紹介する「町内会・自治会加入促進リーフレット」を転入窓口等にて配布します。また、転入者の多い春の時期に、区役所ロビーにて啓発コーナーを設け、町内会・自治会活動を広く周知します。	地域振興課	◆町内会・自治会加入促進リーフレットを転入窓口等にて配布しました。 リーフレットについては、各町内会・自治会での加入促進活動にも活用いただいています。また、3月23日～3月31日の期間、区役所ロビーにて町内会自治会活動啓発キャンペーンを実施し、町内会・自治会活動を広く紹介しました。	◆毎年、区役所ロビーにて実施している町内会・自治会加入促進啓発キャンペーンは、転出入者も興味を持って足を止めています。配布リーフレットにより、加入案内に繋がるケースも多く見受けられます。	◆未加入世帯が集まる盆踊り等のイベントでもリーフレットを配布し、一部の町内会自治会長からは、活動に興味を持ってもらうことに繋がっているとの声をいただいています。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	12	多摩区タウンプロモーション推進事業	区の魅力を発信し、誘客を促進する取組及び「ピクニックタウン多摩区」をキーワードにまちの賑わいとタウンイメージの向上を図ります。	地域振興課	◆公式SNSとして週1回以上発信をし、特にInstagramのフォロワー数を1年間で約500人以上増やすことができました。また、PRアンバサダーとして、8組を任命し、公式noteを発信するなど、市民目線の多摩区の魅力発信を行いました。	◆PRアンバサダーによる発信などによって、区役所による発信だけでは届かない層にも多摩区の魅力を発信することができました。	－	3 目標を ほぼ達成

基本方針 1－2 地域活動の担い手育成

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	13	多摩区子育て支援者養成講座	子どもの成長や子育てについての基礎知識や地域の子育て支援活動の情報提供、実習等を通して、子育て支援を担う人材の育成を図ります。	地域ケア推進課	◆全3回にわたる子育て支援者養成講座を会場受講（12月5日～12月19日）で実施し、延べ24人が受講しました。 ◆地域活動団体での実習として、多摩保育グループ、三田こども文化センター及び三田小学校わくわくブリッジ、地域子育て支援センターつちぶち、子育て支援かもめグループ、おしゃべりリロン「いちにのさん！」（多摩区社会福祉協議会）に延べ12人が参加しました。	◆座学だけでなく、実習団体による活動紹介や工作・手遊び等の体験を取り入れた講座運営とすることで、受講者が地域の子育て支援活動を具体的にイメージでき、理解の深化と実習参加への意欲向上につなげることができました。	◆受講生から、「各団体の方々の話、参加者の方々の話は今後の活動に参考になった」「今の自分に何ができると考えていたが、より具体的にになったかと思う」といった意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	14	スキルアップ講座	子育て支援者を対象とした講演会等を実施し、子育て支援を担う人材の育成を図ります。	保育所等・地域連携担当	◆「わくわくするおもちゃってどんなもの？」をテーマに、子どもたちが夢中になる市販のおもちゃ遊びや手作りおもちゃ作りのヒントを学び、地域の子育て支援にかかわる支援者同士の連携を図るとともに、支援の場に活かすことを目的に、講師を依頼し講演会を実施しました。対面方式で23人が参加しました。	◆テーマについては、子育て支援者へのアンケートで興味関心のある内容を選定しました。遊び方は一つではなく、色々な遊び方があること、子どもの発想から遊びが広がることなど、実際に手に取ってみて大人も楽しさを実感することができ、親子のスキルアップに繋がりました。	◆研修講師が市販のおもちゃを手に取りながら紹介してくださったことで、遊び方や子どもと接する際の心構え、環境づくりについて学ぶことができました。また、研修に参加した地域支援担当者からは、手作りおもちゃの製作が楽しい時間となり、身近な素材で作れるため現場で活かしていきたいとの声が寄せられました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	15	中高生職場体験	公立保育所が近隣の学校と連携し、中高生が1日保育士として乳幼児と触れ合い、子育ての楽しさ等を体験することで、地域で子育てを行う意識の醸成を図ります。	保育所等・地域連携担当	◆近隣の学生94人が保育園での職場体験を行い、多世代交流の機会を持つことができました。	◆一人っ子世帯も多くなり、乳幼児を知らないまま大人になり、子どもを持つ人も少なくない中、若い世代がこのような機会を持つことは、少子化の問題にも少なからず必要な体験だと考えます。	◆実際に就学前の子どもたちと触れ合う経験は、学生にとって貴重な機会だという声がありました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	16	P T A 活動研修	子どもの健やかな成長を支えるPTA活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や行政区の特色を生かしたPTA活動の活性化を図ります。	生涯学習支援課	◆多摩区市立小・中学校PTA委員になられた方々を対象に、多摩区PTA活動研修を年4回（5月15日、29日、6月5日、17日）開催しました。	◆PTA活動の役割、活動内容、運営方法などについて学ぶとともに、学校間の情報交換や交流を図るための研修を実施し、子どもたちの健やかな成長を支えるPTA活動を支援することができました。	◆PTA活動を支える参加者から、様々な活動事例から地域での役割を、あらためて考える機会になりましたという声を聞くことができました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	17	健康づくりを担う人材の育成	食生活・健康づくり等のボランティア養成講座を開催し、活動を担うボランティア学習会の機会を通じて、運動の効果や基本的な知識を学べるよう進めています。	地域支援課	◆区役所にてボランティア養成講座及び学習会を4日間開催しました。参加者は、1日目（9月1日）22人、2日目（9月10日）19人、3日目（9月16日）20人、4日目（9月30日）17人でした。 ◆例年別々で開催していたボランティア養成講座と学習会を同時開催とし、ボランティア活動に繋がっていない人が、すでに活動している人と交流できるようにすることで、活動に興味を持てるよう工夫しました。 ◆4日目にはボランティア活動をしている方に来てもらい、活動紹介を行いました。後日、活動見学会に参加された方もいました。	◆参加しやすいように講座タイトルやチラシのレイアウトを工夫したり、早期に広報開始するなどし、例年よりも多く参加いただくことができました。 ◆活動見学会に参加された中でボランティアとして登録された方が4人いましたが、繋がらない方もいました。興味を持った方がボランティアに繋がれるよう、今後工夫が必要だと感じています。	◆実施後のアンケートでは、講座への満足度も高かったです。「ボランティアに参加して活動してみたいと思うようになりました」と回答いただきました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度取組状況	令和7年度取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	18	認知症リポーター養成講座	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で暮らす認知症の方やその家族を応援・手助けする「認知症リポーター」を養成し、また、その後の活動を支援するフォローアップ等を開催して、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みます。	地域支援課	◆区役所にて認知症リポーター養成講座（住民/職員向け）を実施しました（7月31日）。参加者31人（住民23人、区職員8人）。 ◆3つの地区（南生田、宿河原、寺尾台）にて認知症サポーター養成講座を実施しました。計3回、参加者は合計40人。 ◆一般向けの講座を住民向け計9か所、職域向けで1か所で開催し、参加者は合計172人。 ◆小学校向けの講座は計12校（区内14校中）で実施し、参加者は1,109人。中学校向けは計6校（区内7校中）実施し、参加者は1,050人。 ◆認知症サポーターフォローアップを実施（9月29日）し、参加者は34人。臨床心理士である扇澤史子先生を講師としてお呼びしました。テーマは「わかってくれてうれしい」を目指して」として、臨床心理士の視点からの認知症ご本人の心理やコミュニケーションの方法について講座を行っていただきました。 ◆サポーターフォローアップ受講者で希望する方に体験講座を設置し、2名が参加しました。2つの施設でそれぞれ日程をいただき（11月14日、17日）、認知症当事者と一緒に日中活動に参加し、実践的な接し方などを学びました。 ◆チームオレンジの取組について、新しい認知症観を理解し活動をしている「多摩区ロバさん倶楽部」をチームオレンジ第1号として認定しました。	◆認知症リポーター養成講座については、学校や社会福祉協議会との連携で実施したものでなく、民生委員・児童委員協議会や病院、訪問介護事業所など多様な団体で実施することができ、サポーターを増やすことにつながりました。また、認知症サポーター養成講座実施後に会場のそばのスーパーに認知症サポーター養成講座でいただいた市民の方からの感想をまとめたチラシを掲示させてもらい、地域の方々へ認知症に関する取り組みを周知する機会となりました。 ◆認知症サポーター養成講座の対象者によって内容を変え、新テキストに準じて認知症と認知症の人の理解が進むように認知症キャパパン・メイトの方とも意見交換を重ね、工夫しました。 ◆中学校向け講座では、認知症施策推進計画に書かれている①新しい認知症観に立つ②自分事として考えるということ、講座を通して伝えることができました。 ◆サポーターフォローアップでは、認知症を有する方への関わり方等を学ぶことができた、との声が聞かれました。 ◆体験講座を希望する方と施設側の日程調整が難しく、体験講座の仕方や施設など体験講座の内容を深めていく必要があると感じました。	◆区役所やいこいの家で実施した際のアンケートでは「家族が認知症と診断され、身近なテーマとして改めて意識することができた」「支える側、支えられる側という考えでなく一緒に歩む気持ちが大切だなと思った」など、前向きな言葉が多く見受けられました。また、「参考になった」と回答した人がほとんどであり、大変好評でした。 ◆小学校で実施した際のアンケートでは、話を聞いて接し方がわかったので、困っている方がいたら声をかけたなどの感想も多く、家族や地域の方々に寄り添った対応方法等を考えることができていました。 ◆中学校では、全体を通して「助け合う」「意識を変えていく」「（認知症を）理解する」といった言葉も見られ、認知症施策推進基本計画に基づく①新しい認知症観に立つこと②自分事として考えることの2点を講演会の実施により伝えることが出来ました。 ◆認知症サポーターフォローアップ講座では、普段と違った視点から考えることができたとい	2 目標を上回って達成
地域・防災・暮らし	19	地域防災力強化に向けた取組	避難所運営会議への出席や防災出前講座などを通じて、地域の方が防災に関心を持ち、災害時に対応できるよう取組を進めていきます。	危機管理担当	◆自主防災組織や事業所などで防災出前講座を実施しました（20回）。 ◆区内21か所避難所において避難所運営会議を実施しました。 ◆「災害に強いまち」の実現に向け、次世代の防災リーダーとして期待される子育て世代を対象に、子どもと保護者が気軽に参加できるプログラムを取り入れた「防災キャンプinせせらぎ館」を、令和8年3月15日に実施しました（参加者44人）。	◆日頃から防災活動に携わっている人に加え、今後の地域防災を担う世代にも幅広くアプローチすることができ、防災への関心と理解を高め、地域全体の防災意識の底上げにつなげることができました。	◆参加者から、楽しみながら防災について学ぶことができたことや、体験を通じて理解を深める貴重な機会となったなどの意見が寄せられました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	20	多摩区観光ボランティアガイドの養成	豊富な自然や文化施設、観光資源といった多摩区の魅力を紹介する観光ボランティアガイドの養成を行います。	地域振興課	◆観光ボランティアガイドの主催するガイドツアーを10回実施したほか、個別に依頼のあったガイドツアーや地域イベントでの観光情報配布を実施しました。また、新規ガイドを募集して養成講座を行い、2人の方が新たに観光ボランティアガイドとして登録されました。	◆観光ボランティアガイドツアーは満員となる回も多く、人気の企画となっています。新規ガイドも積極的に活動していますが、一方でメンバーの高齢化により、活動を辞めるガイドもあり、継続的な人材育成が必要であると考えます。	◆多摩区観光協会の中でも、観光ボランティアガイドの活動は非常に活発に行われており、参加者のアンケートからも「楽しめた」、「また参加したい」といった好意的な意見を得られています。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	21	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように支援します。	生涯学習支援課	◆障がいがある人の社会参加促進を図る活動を支援する「障がい者社会参加学習活動“青年教室”」のボランティアを養成する講座を4回開催しました。（6月7日、21日、28日、7月5日）累計で23人の方が参加しました。	◆講座の内容として、講義だけでなく、活動中のボランティアと、青年教室参加者ご家族と対話する回を設けることで、青年教室ボランティアの活動への理解が深まるように開催することができました。	◆講座の参加者へのアンケートでは、青年教室参加者ご家族のお話を聞いて、今後のボランティア活動に活かしたい、との感想をいただきました。	3 目標をほぼ達成

基本方針 1－3 地域活動への支援

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	22	多摩区こどもの外遊び交流事業	「外遊び」を通じて子どもの生きる力を育み、創造力を培うとともに、地域での人のつながりづくりを促す「こどもの外遊び交流」を推進します。外遊びの催しや外遊び活動の担い手となる人材の育成、外遊び活動の支援等を行います。	地域ケア推進課	《主催イベント》 ◆稲田公園「思いっきり外遊び」（9月6日開催 133人参加） ◆生田っ子広場「思いっきり外遊び」（12月7日開催 143人参加） 《共催イベント》 ◆ニッ領せせらぎ館「たこつくり、たこあげ」（1月12日開催 176人参加） 《人材育成業務》 ◆生田出張所「今こそ、大人も子どもも外遊び」（3月21日開催 第1部:4人、第2部:26人） 《広報業務》 ◆「青空フェスタ」出展（6月28日開催） ◆「たまたま子育てまつり」出展（9月14日開催） ◆その他啓発事業、活動支援事業などを実施しました。	◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局として、物品貸出等の外遊び団体の支援を通じ、地域活動を活性化させることができました。 ◆人材育成業務として、外遊びの理念やブレイパークの考え方について学ぶ講演会と、実際の遊びの場を体験する機会を設けることで、外遊びに対する理解促進と、地域で子どもに関わる大人の意識醸成の機会を設けることができました。	◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の委員から、「親も子どもと一緒に遊んでいるのがよかった」、「高齢の方もモルックや昔遊びに参加してよかった」、「外遊びに関心がある親子が増えてきていると感じた」等の意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	23	P T A家庭教育学級講師派遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行います。	生涯学習支援課	◆区市立小・中学校P T A向けに「P T A家庭教育学級説明会」を開催しました（令和7年5月8日）。 ◆区市立小・中学校「P T A家庭教育学級の1年間の活動を総括し、情報を交換する場として、「P T A家庭教育学級報告会」を開催しました（令和8年2月19日）。	◆条件により講師派遣等の支援を行うことができます。P T Aが安心して学級を開設・運営できるよう相談、申請手続き等のサポートに取り組むことができました。 ◆P T A家庭教育学級は12校と区P T A協議会で実施され、そのうち講師派遣を利用したのは5校と多摩区P T A協議会でした。各学級では多様な内容の企画が実施されました。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	24	老人クラブ育成事業	地域の高齢者が主体的に集まる仲間づくりの場として、教養の向上、健康の増進、レクリエーション、社会活動等の老人クラブ活動を支援していきます。	高齢・障害課	◆区老人クラブ連合会では、年間行事である演芸大会やスポーツ大会、グランドゴルフ大会、ベタンク大会、いきいき体操等の健康づくりや趣味の作品展等のいきいきづくりに取り組みました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、各種活動の周知に協力しました。	◆それぞれの活動を通じて高齢者のいきいきと健康づくりが図られ、介護予防につなげることができました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、地域において重要な役割を担っている老人クラブが継続的に活動できるよう、いきいき体操への参加や行事等の周知協力等を通じて会員増強運動を支援しました。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	25	当事者・家族会等のグループ支援	統合失調症や発達障がい等、様々な精神疾患を抱える当事者の家族を対象に、家族会の協力を得て「家族教室」を実施します。病気や障がいに関する情報等の提供や家族としての経験を分かち合うための座談会、及び社会資源の見学等を通じて、精神医療や福祉制度の理解を深め、孤立の防止や家族の対応能力の向上を図るとともに、こころの病について考える機会とします。	高齢・障害課	◆毎月1回年12回実施で計画し、予定通り実施することができました。 ◆家族を対象とした家族教室は、精神障害当事者・精神障害者を抱える家族・地域の支援者をお呼びし、「精神疾患をお持ちの方やそのご家族の方へ 将来のことを考えてみませんか」をタイトルとして「就労」をテーマに、様々な立場の方からお話を伺い、感想や意見を交換しながら、将来のイメージと生活のヒントを見つける場として実施しました。また、家族会は年2回（うち1回は、家族会主催の「家族のつどい」として）実施しました。	◆精神疾患を持つ患者を対象としたデイケアでは、患者のリハビリテーションとなるような様々なプログラムを実施しました。 ◆家族教室は、精神障害当事者、精神障害者を抱える家族、地域の支援者及び参加者で意見交換を行い、それぞれの立場の理解に繋がりを、有意義なものとなりました。 また、家族会は、意見・情報交換を参加者間で行ったことで家族同士の交流と支えの場となりました。	◆精神疾患の患者を対象としたデイケアでは、有意義な時間を過ごすことができたなどの感想をいただきました。 ◆家族教室では、「当事者・家族・支援者それぞれの立場から講演と、質問に答えていただいたことで病気を理解し、受け止めることができた」、「参考になった」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	26	民生委員児童委員の活動支援	民生委員児童委員と区役所の情報の共有や、市民に向けた活動の広報、活動に関連した研修会の実施等、民生委員児童委員活動の支援を行います。	地域ケア推進課	◆令和7年度は3年に一度の一斉改選があり、推薦区会を5回（一斉3回、随時2回）開催し、年度内に198名を委嘱し、新任民生委員児童委員研修会と退任式を開催しました（3月末時点で欠員44人/定員242人）。 ◆一斉改選の依頼及び欠員地区解消のため、町会連合会での説明、依頼文の送付、電話での状況確認等を行いました。 ◆活動支援の一環として、市民向けに市政だよりへの記事掲載（令和7年5月号区版）、地ケアパネル展示に民生委員紹介パネル・パンフレットの設置（12月9日～12月12日）、地ケアフォーラムにてパネル展示（令和8年2月11日）を行いました。 ◆市民からの相談や依頼があった際には、内容に応じて民生委員児童委員と情報共有しました。	◆区内の町内会・自治会等に候補者の推薦を依頼し、192人を12月1日に委嘱することができました。また、欠員区域のある町内会・自治会等に候補者の推薦依頼を行ったことで、7人を3月1日に委嘱し、欠員を補充することができました。 ◆新任民生委員児童委員研修会の開催や、市民からの相談・依頼に適切に対応することで、民生委員児童委員の活動が円滑に行えるように支援することができました。 ◆様々な媒体を活用した広報を行い、幅広く民生委員児童委員活動への関心や理解を深めることができました。	◆広報パンフレットを見た方から、民生委員児童委員の活動内容に興味を持っていると問い合わせいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	27	地域のサロン等への支援	身近な地域の中での居場所や人と人がつながり交流できる場における仲間づくり、情報交換、学び等の取組を支援し、地域での見守りを地域住民、関係機関と連携して推進していきます。	地域支援課	◆地域で開催されているサロンや会食会等に保健師、栄養士、歯科栄養士、認知症地域連携推進員等が出向き、健康や栄養、口腔、認知症予防等の健康講話の実施や参加者の見守り、運営の支援等を行いました。 ◆多摩区の認知症カフェや地域カフェの情報が掲載されている「多摩区カフェ・まっぴ」を作成し、誰もが身近な地域で気軽に参加できるよう活動の周知のための広取を行いました。	◆身近な地域で様々な活動に参加し居場所や仲間づくりができるよう、各関係機関と連携し、チラシを活用した広報の工夫や活動支援を行いました。また、必要な方には活動の紹介を行い、円滑に参加につながるよう、橋渡しを行いました。	◆それぞれの団体からは、ボランティアの高齢化や運営の苦労など大変な面もあるが、ボランティア自身や参加者の生きがいづくりや見守りの場になっているとの声がありました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	28	多摩区食生活改善推進員連絡協議会の支援	地域で食を通したボランティア活動を行う食生活改善推進員の活動について、活動に必要な知識の伝達及び地域活動の活性化を図るための支援を行い、食を通した地域づくりを推進します。	地域支援課	◆地区定例会に年30回、運営委員会に年12回出席し、講話や情報提供のほか、会員とともに活動内容の検討を行いました。養成教室未受講者にも定例会等に参加してもらい、活動体験を通して当協議会への興味を持っていただくことができました。 ◆フロントアウンで開催されたキッズスポーツフェスタ、長尾小学校PTA協議会の食育講座、たまふれあいグループ主催の講座へ参加し、野菜摂取量向上を中心に啓発活動を行いました。日本食生活協会からの委託事業については、高齢世代の料理教室、骨粗しょう症予防の講座を調理実習を伴う方法で実施しました。男性料理教室（クックメン）、地域カフェでの啓発、障害者事業所と一緒に調理実習も行いました。マタニティ食育体験（毎月）、生活習慣病予防講座にも参加し、野菜摂取、薄味の啓発をしました。食生活改善推進員が行った普及啓発活動は46回1,764人です。	◆会員の高齢化により地域活動への意識の低下がみられます。今後定例会で意識の醸成を図るような支援をしていきます。 ◆昨年初めて障害者事業所と一緒に調理実習を行ったが、好評のため今年度も継続で実施しました。知的障害の方々にバランスの良い食事、野菜摂取の啓発ができました。 ◆定例会などを実施し、定期的に集まることや、行政から情報提供を行うことにより、自助・互助の意識を高めることができました。	◆長尾小学校から、小学生に対して楽しく、食育の啓発を効果的に行うことができたとの意見をいただきました。 ◆障害者事業所からは「地域の方と接することができ、バランスのよい食事について調理実習を通して教えてもらうことができ、実践的で有意義でした。一定数利用者が入れ替わるため、多くの方に啓発ができました」と意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	29	健康づくりと地域参加	「多摩区みんなの公園体操」「多摩区いきいき体操」「多摩区健康ウォーク」等、地域での閉じこもり予防を行い、身近な地域で気軽に参加できる活動を周知していきます。	地域支援課	◆地域のボランティアの方を中心に「多摩区みんなの公園体操」は30か所、「多摩区いきいき体操」は18か所で開催しています。また、「多摩区健康ウォーク」も月1回程度実施しています。それらの活動やその他の地域活動に向向き、健康講話や参加者への見守り、運営支援等を行っています。また、案内チラシを作成し、区民への周知を行っています。	◆それぞれの活動に地区担当保健師と地域ケア推進課の職員が一緒に年に数回ずつ出向き、健康講話やより安全に安心して活動が継続できるよう参加者への見守りや運営への助言等後方的な支援を行いました。 ◆チラシ等を活用して広報を行いました。	◆それぞれの団体からは、ボランティアの高齢化や運営の苦労など大変な面もあるが、ボランティア自身や参加者の生きがいがづくりや見守りの場になっているとの声がありました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	30	自主防災組織への運営支援	町内会・自治会やマンション管理組合等で構成する自主防災組織に対し、防災用資器材購入費用の一部を助成する等、自主防災組織の活動を支援するとともに、地域の自主防災組織の結成・加入等を促進していきます。	危機管理担当	◆各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を支給し、51団体（55件）への支援を行いました。 ◆各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を備えるにあたり、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を支給し、28団体（29件）への支援を行いました。	◆会議等において「自主防災組織活動支援ガイド」などを活用し、補助制度の活用促進に向けた周知を行うとともに、自主防災組織が防災活動等に関する説明を円滑に実施できるよう、運営面での支援を行いました。	—	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	31	多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業	地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進めます。	企画課	◆「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組みを効果的に推進するため、多摩区ソーシャルデザインセンターの運営組織と締結した協定に基づいた運営支援（行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等）を実施しました。《運営組織による主な取組は以下のとおり》 ◆多摩区ソーシャルデザインセンター事務所にスタッフを配置し、相談受付を実施しました。 ◆地域活動を行っている団体に対する補助事業である多摩区地域コミュニティ活動支援事業（多摩区まちのひろば活動支援資金）を実施しました。1件10万円を上限として募集を行い、令和7（2025）年度は12事業を選定しました。 ◆事務所でのイベントを通じて人材発掘や地域人材の情報登録受付による人材バンクの構築に向けた取組を行いました。 ◆地域との一層の関係構築や団体・地域の課題把握を図り、活動が及んでいなかった地域への支援等を推進するなど、地域情報の収集・発信を実施しました。 ◆地域人材の育成を目的に、中高生を対象にイベント等の地域活動を体験できるプログラムや、高校生のインターンシップ受入れを実施しました。 ◆地域の交流促進に向けたイベントを開催しました（「登戸・たまがわマルシェ」、「登戸・たまがわ運動会」等）。 ◆地域イベントへの参加・協力を行いました（「登戸まちなか遊緑地」等）。 ◆まちのひろば創出や交流促進に向けて、事務所交流スペースの利活用を促進し、地域応援・活性化プログラム、交流イベント開催をしました（「こども食堂」、「カワフルカフェ」等）。 ◆全国都市緑化かわさきフェア生田緑地会場への来場者向けにおもてなしブースを設置し、市・区が実施する事業への協力・連携を実施しました。	◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」に掲げられた基本的機能に沿って、多様な主体の連携により、交流促進や地域活性化をはじめ、区民中心の運営組織主体の様々な取組が実施されました。	—	3 目標をほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮ら し	32	市民活動支援事業	市民活動のための打ち合わせ等を行うための会議室、資料作成を行うための印刷・作業スペース等の機能を備えた「多摩区民活動・交流センター」を区民との協働により運営し、市民活動団体等の活動の発展、交流、相互支援を促進します。	地域振興課	◆多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、年間を通じて、会議室や印刷・作業スペースを提供するとともに、登録団体から構成する運営委員会を年9回行い、同センターの運営の検討を行ったほか、全体会及び交流会を年1回開催し、団体会の交流・相互支援を促進しました。	◆令和7年度には生田出張所にパンフレットスタンドと掲示板を設置し、団体の活動を広報する機会を増やしました。以上のことから本事業が市民活動の支援につながっているものと考えられます。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	33	町内会・自治会活動の支援	地域住民が主体となった地域課題の解決等への取り組みや、多くの住民の参加とつながりを促進するにあたり、要する費用の一部について補助金を交付するなど、地域社会において重要な役割を担う町内会・自治会活動の活性化を支援します。	地域振興課	◆地域住民の参加とつながりを促進するため、各町内会自治会活動を行うにあたり、「町内会自治会活動応援補助金」を59の町内会自治会に交付し、支援を行いました。	◆町内会自治会への補助金交付を通じて、各町内会自治会活動に関する地域住民の理解と関心を促し、様々な住民の参加とつながりを推進するよう取り組みました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	34	市民自主学級・市民自主企画事業	地域や社会の課題解決に向けて、市民が企画提案し、市民館と協働で市民に身近な学習の場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化します。	生涯学習支援課	◆市民団体が提案した市民自主学級(2事業) 市民自主企画(2事業)を行政と協働で実施しました。	◆企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目標で課題を共有し、問題解決に向けて学び合うことができました。行政としては、資金を委託料として提供したり、効果的な広報方法や会計処理、会場確保など事業がスムーズに運営できるように支援しました。 ◆今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めていきます。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防 災・暮ら し	35	公園・街路樹等の愛護活動支援	公園緑地愛護会等への支援を実施し、公園緑地等における市民協働の取組を推進します。	道路公園センター	◆管理運営協議会・公園緑地愛護会を対象に剪定講習会を1回実施、合同連絡会を1回開催することで愛護活動に必要な情報を提供し、活動の活性化や維持管理技術の向上等を行いました。	◆剪定講習会により樹木等の維持管理技術が向上し、合同連絡会では行政からの連絡事項について情報共有が図られ、愛護活動の活性化に繋がりました。	—	3 目標を ほぼ達成

基本方針 2－1 誰もが気軽に参加できる活動・交流の機会づくり

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	36	多摩区子育て支援パスポート事業	区商店街連合会との協働により、区内の妊婦及び18歳未満の子どもがいの家庭へ、子育て応援店によるリーベスの提供等の支援を行うことで、商店街を中心に地域のコミュニケーションの機会を増やし、地域社会が一体となって子育てを支援する体制を推進します。	地域ケア推進課	◆「多摩区子育て支援パスポート」を2,146枚発行しました。 協賛登録数（11商店会、69協力店、3公共施設） ◆協賛店の確認、協賛店ガイドの更新を行いました（6,000部）。 ◆利用者の利便性向上のため、令和7年9月にパスポートカードを電子化しました。 ◆事業の普及啓発として、「たまたま子育てまつり」などに参加し、パスポート電子化についてチラシ配布等により周知を行いました。 ◆電子パスポートの利用者を対象としたアンケート調査を実施し、電子パスポートの利用頻度、利用に際して困った点、パスポート事業全体に関してどのような改善を希望するか等の項目について調査を行いました。	◆多摩区商店街連合会と連携し、利用者及び子育て応援店への周知を丁寧に行った上で、パスポート電子化を実施しました。	◆利用者を対象としたアンケート調査では、パスポートの電子化によって忘失や紛失の恐れがなくなり、電子化してよかったとの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	37	子育てサロン・子育てひろば	乳幼児期から親同士の交流を図り、孤立化を防止します。また、育児不安や育児ストレスの軽減ができるよう、親同士による情報交換や専門職による育児相談を実施しています。	地域支援課	◆多胎児を持つ保護者の支え合いを目的とした、子育てリロン「ぶよぶよザウルス」を年11回（12月は休会）開催しました。年間延参加数は母子合わせて96人が参加し、うち1人が多胎児を妊娠中の妊婦が参加しています。 35歳以上の初産婦を対象に子育てサロン「こうのとりの」を年11回（12月は休会）開催しました。年間延参加数は、母子合わせて268人（134組）うち初回参加者の合計は35組。 近隣に住む親子の情報共有や交流を目的として、子育てサロン「長尾親と子の広場」を年10回開催しました。（「長沢ママ's サロン」は令和7年度末で終了）	◆「ぶよぶよザウルス」「こうのとりの」「長尾親と子の広場」を開催し、区内で子育てをしている親同士で支え合いながら、安心した育児ができるように支援しました。また、「ぶよぶよザウルス」においては、多胎児を妊娠している妊婦が参加することにより、出産後の多胎児育児のイメージづくりや仲間づくりに役立っているため、今後も積極的に母子手帳交付時等で案内をしていきます。	◆リロンに参加することで友人ができた、情報交換ができて参加してよかったという声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	37	子育てサロン・子育てひろば	多摩区へ引っ越してきたばかりの親子等に集いの場を提供します。仲間づくりや地域の子育て資源の情報提供を行いながら地域へつなげていきます。	保育所等・地域連携担当	◆緑化センターを会場に、8月を除き毎月、転居して地域のことをあまり知らない方や、子育てについて不安のある方を対象とした「だんだんの会」を開催しました。転居して地域のことをあまり知らない方や、子育てについて不安のある方を対象とし、毎回5組程度の少人数制で開催し、延べ31人の親子が参加しました。	◆多摩区へ越してきた親子が孤立しないように、全5回の終了後も地域の場所や人となりがり仲間づくりができるように、地域の子育て情報を伝えながら支援することができ、保護者だけでなく子どもにとっても、家庭以外の場でさまざまな人と関われる経験が、より良い育ちにつながっています。	◆毎月顔を合わせることで、互いの子どもの成長を喜び合えたこと、保育士に気軽に相談等ができて子育てを支えてもらい地域に出ていくことができたという感想が出ていました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	38	子ども子育て推進事業	育児不安やストレスの軽減、親同士の交流及び父親の育児参加を目的に、楽しく集い遊ぶ場と情報の提供や、安全に遊べる環境整備を、地域の子育て支援者等と協働で推進していきます。	保育所等・地域連携担当	◆「ママとあそぼうパパもね！」事業 主催が多摩区公私立保育所、共催が晋こども文化センターで、民生委員児童委員協議会、KFJ多摩すかいきっず、地域子育て支援センター宙の協力のもと、保育所等・地域連携担当が事務局となり開催しました。 ◆区内3エリアで、4・8・9月を除き毎月1回ずつ実施しました。定員は20組程度とし、登戸地区447人、生田地区336人、菅地区294人、計1,077人が参加しました。	◆キャンセル待ちの方が出る応募状況の場合、募集人数の調整をして対応し、地域で求められる集いの場を提供することができました。 ◆子育て中の親子が楽しく遊ぶ場の提供ができ、仲間づくりができる場になっています。	◆保育士の紹介するあそびが参考になる、子どもに様々な経験をさせられることが嬉しい、という感想の他、親のリフレッシュにもなる、地域に知り合いができ嬉しい、スタッフの声掛けが嬉しいといった声も多くあげられました。子どもの成長発達の喜びを共有してもらえなことや、声が掛け合える関係性であることについては、参加者、スタッフ双方から好評な意見が出ていました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	39	身体測定・遊びの広場	子育て中の親子を対象に、公立保育所において、子どもの身体測定や家庭でも楽しめる遊びの提供、専門職による子育て講座を行い、子育ての悩みを解決し、近隣の子育て世代の仲間づくりを推進します。	保育所等・地域連携担当	◆公立保育所で開催のあそびの広場には494人、園庭・室内開放等に2,423人、交流保育に267人の参加がありました。	◆子育てに悩みを抱える保護者に保育園で子どもたちが過ごす姿や関わりを見てもらい、年齢に相應した遊びを経験し、仲間と共に過ごす場を活用しながら育児に関する相談をお受けする機会は、子育て中の家庭の育児不安の解消に大きく貢献しています。	◆家庭で子育てをしていると、同年齢のお子さんの様子を知る機会が少ないことなどから、お子さんの姿や保育士の関わりを直接知ることができる体験型の事業は好評を得ています。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	40	子育てひろば・外国人の子育てひろば	子育て中の親子を対象に、家庭の教育力を培い仲間づくりを行う機会を提供します。	生涯学習支援課	◆「子育てひろば」 就学前の子どもと保護者が自由に交流するフリースペースを年18回開催しました（8月を除き毎月第2・4火曜）。 年間参加：210組（431人） ◆「外国人の子育てひろば」 外国人の親子が自由に交流するためのフリースペースを年11回開催しました（8月を除き毎月第2金曜）。 年間参加：47組（94人）	◆子育て支援ボランティアグループの協力のもと、通年で開催しており、広く区民に知られる存在となっています。親子が安心して参加できる地域の居場所として、大切な役割を果たしています。今後人も地域とのつながりを大切にする交流の場所の提供に努めます。	◆参加者から、地域の子育て支援関係の情報を入手したり、スタッフ・参加者同士交流できる喜びの声が多くありました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	41	たまたま子育てまつり	子育て中の親子や区民を対象に、子育て力を養い、仲間探しをする場づくりを行います。また、充実した子育て支援を行うため、関係する団体間のネットワークの構築をめざします。	生涯学習支援課	◆「たまたま子育てまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、9月14開催）。 ◆「たまたま子育てまつり」の開催にあたり、市民と行政機関で構成された実行委員会を10回、参加団体説明会を2回開催しました。 ◆子育てリーフレット「多摩区で子育て」3,000部発行しました。 ◆来場者約5,000人	◆昨年よりも多い、約5,000人の来場者があり、参加団体数も増加しました。子育て支援に取り組んでいる参加団体と、子育て世代の来場者等との交流を促進するだけでなく、各団体やボランティアが協力してイベントを運営することで、参加団体同士の情報交換の場にもなりました。 ◆子育て情報リーフレットを印刷し、「たまたま子育てまつり」開催中に、関係者と連携して子育て世帯に配布しました。	◆実行委員会から「参加団体と子育て世代の交流が行われて良かった」、参加団体や来場者からは、「子どもたちの真ぶ姿が見られて良かった」という感想をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	42	障がい者と地域住民の交流の場「障がい者社会参加学習活動」	地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加を図り、共に生きる地域社会の実現をめざします。	生涯学習支援課	◆多摩市民館障害者社会参加学習活動「青年教室」として、全10回の活動を実施しました。	◆地域のボランティアの方々と協力して、青年メンバーの社会参加を支援できました。生きがいづくり、人々との交流促進と顔の見える活動を通じ学習機会の提供を行いました。	◆バスハイクなど外での活動や料理教室など体験型の活動を実施することができ、参加者やボランティアからは好評でした。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	43	「Ankerフロンタウン生田」との連携イベント・教室	Anker フロンタウン生田と連携して、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を推進します。	地域振興課	◆ボールウォーキング教室（全45回開催、延べ1,098人参加） ◆Mizutori Sports Clubによる体操教室体験(8月6日開催、21人参加) ◆ボールウォーキング&川崎フロンターレ観戦ツアー（11月8日開催、18人参加） ◆SPARTANイベント(10月26日開催、68人参加)	◆本事業は、市内で様々な地域づくりに関する活動に取り組んできたクラブのノウハウを活かし、広く区民へスポーツ及び交流の機会を提供し、多摩区における地域スポーツの更なる推進と地域コミュニティに新しい活力を生み出すことを目指し、実施するものです。通年のスポーツ教室や子ども向け体験会などを実施することで、Anker フロンタウン生田を多くの人に体験してもらい、多摩区の新たなスポーツ拠点という位置づけを明確にし、区内におけるスポーツ推進の土台を固めていくことができたと考えます。参加者も1,200人を超え、継続的にスポーツに取り組む機会と新しいスポーツの体験の提供を併せて行うことで事業効果を高めることができました。	◆参加者から「継続的に参加することで、健康的になった」「参加者同士で交流が生まれた」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	44	多摩区スポーツフェスタ	地域のスポーツ資源を活用し、地域の特色を生かしたスポーツイベント「多摩区スポーツフェスタ」を実施することにより、区民が身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツ活動を通じた地域住民の交流、地域の活性化を図ります。	地域振興課	◆川崎市多摩スポーツセンターを会場とし、3月8日に第13回多摩区スポーツフェスタを開催しました。（1,214人参加）	◆本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものです。実行委員会を中心に企画立案を進め、世界大会3連覇の実績を持つプロダブルダッチチームのREG☆STYLEをお呼びし、オープニングパフォーマンスを行うほか、約20種目の体験教室を実施しました。スポーツに取り組む機会を提供する目的に加え、地域の活動を知ってもらう機会や住民同士の交流を促進する一助となったと考えます。	◆参加者から「やったことない競技でしたが、楽しかった」「体験して、体が軽くなった」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	45	川崎市多摩スポーツセンターの運営	指定管理者による施設運営を通じ、市民のスポーツの普及及び振興に関する各種事業を行っています。気軽にスポーツに親しめる場を提供することで市民の健康維持・増進を推進します。	地域振興課	◆市民のスポーツの普及及び振興に関する各種事業を行い、506,919人が利用しました。	◆スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障害者などを対象とした幅広い教室（約80種目）を企画運営しており、定番の卓球教室、テニス教室、ブル教室、弓道教室などのほか、共同事業体の知名度を活かしたフットリル、バスケ教室、さらにはヨガやピラティスなどエクササイズ系の教室にも力を入れており好評を博しています。また、フレイル予防の健康体操、シニアスイミングなど高齢者をターゲットにした教室も好評で、研修室の稼働率向上の試みとして始めた健康麻雀はコミュニティづくりの効果も期待でき人気教室になっています。 ◆個人利用事業についても、スポーツデーを実施し、卓球やバドミントンなど、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境を創出したほか、トレーニング室における器具の更新や、環境の改善、プールにおける回数券の販売など、利用者のニーズにあわせた事業展開ができており、利用者に十分な量および質のサービスを提供したと考えます。	◆利用者アンケートでは、施設利用をする中で「体力がついた」が26.0%、「仲間ができた」が24.3%と、効果をあげる声がありました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	46	魅力的な公園整備事業	既設公園の老朽化に伴う施設更新やバリアフリー化等の再整備を行い、多様な公園利用者の利便性を向上させます。また、再整備にあたっては地域と調整し、地域の交流の場としての活用に資する整備を行います。	道路公園センター	◆多摩スポーツセンターテニスコート改修工事を実施しました。テニスコートA面において、降雨後に大量の水が溜まり排水不良であったため、現況舗装（人工芝・ハードコート舗装）を撤去し、新たに人工芝舗装を整備しました。	◆雨上がり後においても安心してプレーを楽しむことができ利用者同士の交流を促進する一助となったと考えます。	◆テニスコート利用者から「きれいなコートでプレーできてうれしいです」などの意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成

基本方針 2-2 身近な地域での支え合い活動の推進

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	47	地域包括ケアシステムの推進	自助・互助の意識の醸成や、身近な課題への住民主体の取組を広めていくため、課題解決のプロセスを住民と共有し、地域特性に応じた「多世代で支え合う」地域づくりを進めます。	地域ケア推進課	◆2月11日に「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみっけ！」をテーマに地ケアフォーラムを開催し、157人が参加しました。 ◆区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施しました。 ＜登戸地区＞・のぼりとミーティング 交流会を2回（7月29日、3月5日）開催し、各団体の進みと困り事を掛け合わせた「地ケ算」の取組の企画等のワークショップを行いました。 ＜菅地区＞・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ 交流会を2回（7月23日、3月10日）開催し、「地ケ算」の中で生まれた困り事を共有し、解決に向けて取り組みました。より住民主体のプロジェクトにするため、開催テーマの検討や当日の運営を区役所と一緒に考える企画部会を設立しました。 ＜中野島地区＞・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 協議会を2回（7月7日、3月23日）開催し、多世代交流の場づくりに向けた地ケ算の検討や地域の課題等についての意見交換や、防災をテーマとした講話・グループワークを行いました。 ＜稲田地区＞8月4日、長尾小学校わくわくプラザで、小学生向けの防災講座を開催しました。12月5日、川崎市緑化センターで、子育て世代を対象に防災講座を実施しました。 ＜生田地区＞西三田田地において、住宅管理組合設置の重要課題検討委員会から高齢者の見守りに関する支援依頼を受け、ボランティアによる戸別訪問のスタートに向けた各種伴走支援を行いました。 ◆5月29日、庁内の連携体制推進に向けて、区役所職員を対象に「地ケアって？」研修会を開催し、21人が参加しました。	◆地ケアフォーラムの広報について、従来の方法に加え、区内郵便局でのチラシ配架、区役所総合庁舎2階渡り廊下を使用した横断幕の設置等、多様なアプローチによる工夫を行った結果、前年比約2倍となる157人の方に来場いただくことができました。 ◆第1部では過去のイベントをきっかけに地域活動を始めた先輩による体験談トークを行い、これから地域活動を始めようと考えている方の参考になるようアプローチを工夫しました。 ◆区職員同行のもと、地域活動団体の活動を見学できる「ちょこつと活動見学」を設定し、次の一歩につなげるアフターフォローができました。 ◆各地区の特性に応じて、多様な主体による協働・連携に向けた協議会・交流会を開催してネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、地域包括ケアシステム構築のための基盤の安定を一層図ることができました。 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～において、「地ケ算」の創出の過程で地域住民や団体の自発的な意見交換や助け合いが見られたことから、「地ケ算」は他地区の支え合いの地域づくりを効果的に進めていく上で有用であると考えています。	◆地ケアフォーラムの参加者アンケートでは、「地域活動団体や地域で活動する人と話ができ」「地域活動団体の活動について情報を得られた」との意見を多くいただきました。また、出展団体からは「自分たちの活動を知ってもらうことで参加者が増えたら嬉しい。地域の方と関わるいい機会になった」との意見をいただきました。 ◆のぼりとミーティングの参加者から、「（地域課題の解決について）熱意が強く刺激になった」「地域の方々との関わりを持つきっかけ作りが出来る、有意義な会だと思う」等の意見をいただきました。 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～の参加者から、「色々なアイデアがもらえるのでとても参考になる」「貴重な顔の見える場」を企画してもらえてありがたい等の意見をいただきました。	2 目標を上回って達成
地域・防災・暮らし	48	地区カルテ等を活用した地域ごとの情報の集約と見える化	地域づくりに関わる多様な主体と地域の概況や課題を共有し、課題解決を促進するツールとして、地区カルテを効果的に活用していきます。	地域ケア推進課	◆多摩区地区カルテの定期更新を行いました(3月)。 ◆多摩区地区カルテのホームページを更新しました(3月)。	◆各地区の地域づくりワークショップ等において、議論のきっかけとする材料として、地区カルテ共通フェイスシートを活用しました。また、庁内職員を対象とした研修等においても、同資料を活用して各地区の地域特性などについて、情報共有を行いました。引き続き、住民と地域の概況や課題を共有するためのツールとして活用を検討していきます。	—	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	49	多摩区・3大学連携事業	地域資源である区にゆかりのある3大学を活用した魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学と連携した取組を実施します。	企画課	◆「多摩区・3大学連携協議会」の取組を通して、大学と地域の交流促進を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を行うため、以下の事業を実施しました。 ・大学・地域連携事業の実施 ・大学生の地域参加促進事業（たまなび）として各種プログラムの実施 ・情報誌たまなびnewsの発行（1回） ・2025多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～の実施 ・3大学協議会（3回）、たまなびnews編集会議（1回）の実施 ・市内施設における「多摩区・3大学連携協議会」に関する紹介パネルの展示（年間） ・「域学連携まちづくりシンポジウム」の開催（多摩区・3大学連携協議会後援）	◆大学生の地域参加事業では、「地域で見守る子育てしやすいまちづくり」をテーマとして、区内で子育てするパパ・ママへのインタビューやワークショップを実施し、参加学生は親子向けイベントを1から企画・運営するなど、フィールドワーク活動における大学と市民との交流を通して、地域課題解決に向けた実践的な取組を行うことができました。 ◆「多摩区・3大学連携協議会」は設立20周年を迎え、各事業においても20周年記念プログラムを検討し、より一層、大学と市民との交流の機会の創出、事業を広く周知することにつながりました。	—	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	50	生田地区コミュニティ推進事業	生田地区のコミュニティ活動を活性化するために、生田地区の実情に応じた拠点活用を行います。	生田出張所	◆生田出張所広場花壇植え事業（6月26日開催：生田小学校2年生約80人・地元企業等参加、11月5日開催：生田小学校3年生約60人・地元企業等参加） ◆生田っ子フェスタ（11月9日開催：約200人來場） ◆生田っ子広場看板設置（11月9日お披露目式開催：生田中学校美術部及び地元タイルアーティストとの協働事業）	◆各事業を通じて、参加団体の活動を知ってもらう機会や、住民同士の交流を促進する一助となったと考えます。 ◆生田出張所及び生田っ子広場を広く周知し、身近な地域のコミュニティ拠点として、より多くの区民の方に認識していただいたと考えます。	◆花壇植え事業に参加した児童からは、楽しかった等の感想がありました。 ◆生田っ子フェスタの参加団体からは、次回も参加したいとの意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成

基本方針 3-1 支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度														
子ども・子育て	51	新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問	生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭に対し、訪問指導員（保健師・助産師・看護師）が伺い、赤ちゃんの体重測定や相談を行います（新生児訪問）。又は、子育て家庭と地域とのつながりをつくるため、研修を受けた地域の方が訪問員として伺い、身近な子育て支援情報等を届けます（こんにちは赤ちゃん訪問）。	地域支援課	◆妊娠届出や転入の際に新生児訪問・赤ちゃん訪問の案内を実施しました。出生後1か月以上経過しても出生連絡票が提出されていない場合は、勧奨ハガキの送付や地区担当保健師が電話や訪問にて提出を促し訪問に繋がっています。訪問種別でみると、看護職による新生児訪問等は、1,400件、民生委員等の地域住民の訪問員によるこんにちは赤ちゃん訪問は194件でした。	◆乳児期の早い段階で訪問を行うことで、育児負担のある保護者の早期把握と支援を行う事ができ育児負担の軽減につながっています。また、地域の住民と知り合える機会となり孤立育児の防止につながっています。	◆新生児訪問で育児相談ができ良かった、そこで紹介された母子保健事業に参加し友人ができたという声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成														
子ども・子育て	52	産後の健康相談、育児相談	産後の母親の健康や、日常の育児の心配や不安があるとき、子どもの成長や発達を確かめたいときの育児相談を行います。	地域支援課	◆保健師、看護師、助産師、歯科衛生士、栄養士と運動発達の相談のため北部地域支援室に理学療法士の派遣を依頼しており、多くの専門職による専門的な相談を受けています。 ◆来所にて産後の健康相談と育児相談を年間12回開催し、育児相談は延べ169組の参加があり、乳児が135組、幼児が34組。相談内容は、育児の相談が一番多く次に栄養相談、運動相談となっています。産後の健康相談は、延べ53組が参加しました。	◆一度に多くの専門職に育児相談ができるため、様々なちょっとした事も気軽に相談でき育児不安の軽減につながっています。また、産後は母親自身の体調が不安定になる事が多いため、助産師に相談することで産後の健康にも留意してもらえる機会になっています。 ◆一度限りの来所ではなく、何度も産後の相談や育児相談を利用している母子や産婦も多く、産後の体調や育児の相談ができる場として多くの区民が利用しています。	—	3 目標を ほぼ達成														
子ども・子育て	53	子ども・子育て相談	養護相談（虐待相談含む）、障がい相談等、0歳から18歳の子どものに関する問題について、家庭その他のからの相談に応じ子どもの福祉を図るとともに権利を擁護します。	地域支援課	◆家庭や関係機関からの子どもに関する相談に対して、保健師や社会福祉職、心理職、栄養士、助産師、こども教育相談員等、多職種で相談に応じ、子どもの福祉と権利擁護に重点を置いて相談支援を行いました。	◆母子保健と児童福祉分野の職員が協働して相談に応じていくことで、家庭の課題の早期発見や早期対応につながっています。	—	3 目標を ほぼ達成														
子ども・子育て	54	学習支援・居場所づくり事業	生活保護受給世帯及びひとり親家庭の小学3～6年生及び中学生を対象に学習支援を行い、生徒の高校進学率向上を図るとともに、子どもの居場所づくりを行い、「貧困の連鎖」の防止に取り組みます。	保護第1課・第2課	◆学習支援事業者との定期的な連絡会を開催して、事業を利用している子どもの利用状況を把握し適時、担当ケースワーカーと情報を共有して必要な支援を実施しました。また、新規事業参加者の獲得を目的として年度末に全事業対象世帯に対して利用意向の調査を実施しました。	◆引き続き学習支援事業者との連携を密にして事業を推進していきます。	◆（学習支援教室実施事業者からの意見として）今後も区役所と情報共有を密に行い、対象世帯への支援を拡充していきます。	3 目標を ほぼ達成														
高齢者・障がい者	55	ひとり暮らし等高齢者見守り事業	地域の実情に通じている民生委員児童委員の協力のもと、ひとり暮らし高齢者等の世帯状況や身体状況等の実態を把握し、安心して生活を営めるよう、見守りネットワークづくりに活用していきます。	高齢・障害課	◆ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の高齢者等を対象に、郵送による生活状況調査を行いました。その調査票から見守り対象者を選定しました。また、郵送での調査に回答がなかった方に対して、民生委員に訪問による再調査を依頼しました。 ◆調査後は、個人情報保護に配慮しながら、回答内容を民生委員と共有して日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携し、孤立等のリスクのある高齢者の早期発見・実態把握や支援につなげるなどの活用を図りました。	◆回答いただいた調査票は、個人情報保護に配慮しながら民生委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につながりました。また、リスクのある高齢者の早期発見・実態把握に活用しています。	◆民生委員の方と連携し、高齢者に対して適切な見守り活動を行うことができました。一人暮らしの高齢者の方からは、見守りがあることで安心して過ごすことができるとの声がありました。	3 目標を ほぼ達成														
高齢者・障がい者	56	認知症等行方不明SOSネットワーク事業	行方不明になり生命に危険を及ぼす可能性のある認知症等の方の情報を事前に登録することにより、行方不明となった際に速やかに発見するための緊急連絡体制を関係機関と連携して構築します。また、近隣の市区町村と連携を図り、高齢者の安全を確保し家族への支援を行います。	高齢・障害課	◆令和7年度は多摩区で29人の申請があり新規事前登録を行いました。高齢者在宅サービス課から月に1度神奈川県を經由し、神奈川県警本部に情報共有していますが、所轄警察署には自動的に共有されなかったため令和6年度に見直しを行い、要綱に基づき、多摩警察署生活安全課に月に1度、事前登録者に関する情報提供を行いました。捜索依頼を受理した場合は、地域包括支援センター等、捜索協力依頼を適切に行いました。	◆新規登録者数は例年30人前後で推移しており、制度の周知はされてきています。今後、早期発見につながるためには事前登録者が付いているネームプリントで身元照会ができるなどの情報を広く一般に周知していく必要があると考えます。地域ケア会議や協議等の機会をとらえて制度の周知を引き続き積極的に行っていきます。	◆利用者の方の御家族から、ネームプリントからコールセンターに通報があり、早期の発見につながったとの感謝のお声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成														
高齢者・障がい者	57	高齢者・障がい者相談支援の実施	高齢者や障がい者が安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障がい者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行います。また、高齢者や障がい者等への虐待に関する相談窓口の普及啓発と、通報に対する迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施するとともに、虐待の防止にも取り組みます。	高齢・障害課	◆高齢者や障害者が安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等につなぎ、継続的なフォローを行いました。 また、高齢者や障害者等への虐待に関する相談窓口の普及啓発と、通報に対する迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施し、虐待の防止にも取り組みました。 <table><tr><td>高齢者に関する相談件数</td><td></td></tr><tr><td>（レベル2以上 初回のみ）</td><td>3 5 5 件</td></tr><tr><td>高齢者虐待対応件数</td><td>4 7 件</td></tr><tr><td>身体障害者手帳 交付件数</td><td>3 4 7 件</td></tr><tr><td>療育手帳 交付件数</td><td>1 1 3 件</td></tr><tr><td>精神保健に関する相談件数</td><td>1 5 2 3 件</td></tr><tr><td>障害者虐待対応件数</td><td>1 0 8 件</td></tr></table>	高齢者に関する相談件数		（レベル2以上 初回のみ）	3 5 5 件	高齢者虐待対応件数	4 7 件	身体障害者手帳 交付件数	3 4 7 件	療育手帳 交付件数	1 1 3 件	精神保健に関する相談件数	1 5 2 3 件	障害者虐待対応件数	1 0 8 件	◆地域包括支援センター、障害者相談支援センターと連携し、高齢者や障害者が安心して地域で暮らし続けることができるよう、相談を受け止め、適切な機関・制度・サービス等に繋ぎ、継続的なフォローを行いました。 ◆相談件数は年々大きく増加しておりますが、高齢者や障害者等への虐待相談窓口の普及啓発に努め、通報には迅速かつ適切な対応を関係機関と連携して実施しました。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者に関する相談件数																						
（レベル2以上 初回のみ）	3 5 5 件																					
高齢者虐待対応件数	4 7 件																					
身体障害者手帳 交付件数	3 4 7 件																					
療育手帳 交付件数	1 1 3 件																					
精神保健に関する相談件数	1 5 2 3 件																					
障害者虐待対応件数	1 0 8 件																					

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防災・暮らし	58	川崎市地域見守りネットワーク事業	協力事業者等から連絡のあった、異変のある地域住民の情報を基に関係部署と連携し、訪問等による必要な支援を行います。全市的な協力事業者の拡充等、きめ細やかなネットワーク構築により効果的な事業実施を行います。	地域ケア推進課	◆通報件数7件（内訳：死亡2件 在宅確認1件 入院確認1件 その他3件 ※令和7年1月1日～12月31日）	◆住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	59	認知症訪問支援事業	認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医師、看護師、介護支援専門員、社会福祉士等専門職種の連携により、認知症高齢者とその家族への支援体制の構築を推進します。	高齢・障害課	◆令和7年度の取組としては、チーム会議を3回実施しました。そのうち、新規相談は1件あり、ケース検討は1回実施しました。	◆担当の支援者を交え、新規相談について、具体的なケース検討を行うことができました。	◆（地域包括支援センター等チーム員からの意見として）地域包括支援センターに相談されるケースは既に認知症が進行しているケースが多いため、民生委員・児童委員の方や、ケアマネ連絡会での事業理解・周知ができるとよいのではないかという意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	60	災害時要援護者避難支援制度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者に対し登録を促し、希望者からの申し込みを受けて登録を行います。申し込みにより作成した災害時要援護者名簿を支援組織（町内会・自治会、自主防災組織、民生委員児童委員）に提供する等、地域における共助による避難支援体制づくりが円滑に進むよう支援をしています。	高齢・障害課	◆災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者からの申込窓口として、問い合わせに対する案内や申請受付、システムの登録を行いました。その情報を危機管理担当宛て提出しました。	◆申込受付の際は、個人情報の同意について確認をし、調査項目に従い聞き取りを行うことができました。	—	3 目標を ほぼ達成
地域・防災・暮らし	60	災害時要援護者避難支援制度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者に対し登録を促し、希望者からの申し込みを受けて登録を行います。申し込みにより作成した災害時要援護者名簿を支援組織（町内会・自治会、自主防災組織、民生委員児童委員）に提供する等、地域における共助による避難支援体制づくりが円滑に進むよう支援をしています。	危機管理担当	◆川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	◆個人情報に配慮し、適切に送付しました。	—	3 目標を ほぼ達成

基本方針 3-2 区民・団体・民間・行政の連携

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
子ども・子育て	61	多摩区子ども総合支援連携会議	子どもに関わる市民活動団体・機関・関係部署のネットワークを活かし、地域全体で子育て支援を推進します。	地域ケア推進課	◆多摩区子ども総合支援連携会議 ・6月9日開催 ・各団体からの取組状況報告 ・行政からの子ども関連施設説明（子ども未来局青少年支援室から「放課後等の子どもの居場所に関する今後の方向性」について、子ども未来局保育・幼児教育部保育第1課から「令和7年度乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）の実施」について説明） ◆多摩区子ども子育て支援講演会 ・2月3日開催 ・認定NPO法人フリースペースたりば理事長 西野博之氏 ・35人の出席	◆多摩区子ども総合支援連携会議 ・放課後等の子どもの居場所に関すること、子ども誰でも通園制度に関するについて参加団体と情報共有しました。 ◆子ども子育て支援講演会 ・テーマについては、「生まれてくれてありがとう」を届けよう～子供居場所とつながりを考える～をテーマに開催しました。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。	◆会議の出席者からは、「各団体の現状や行政が行っている事業の詳細が分かってよかった」などの感想をいただきました。 ◆講演会の参加者からは、「子どもが幸せになるためには大人が幸せでないとけない」「子どもは生まれながらにして人間である」などの言葉が印象に残り、たくさんの感銘を受けたとの声をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	62	多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	多摩区における要保護・要支援児童の早期発見や適切な援助を図るため、関係機関・団体等が情報や考え方を共有することにより、子どもを守る地域支援ネットワークを構築し、支援機能の強化をめざします。	地域支援課	◆区代表者部会は年2回実施しました。第1回（6月26日実施、参加者27人）は、会議趣旨説明、地域支援課報告、児童相談所報告、委員紹介、事例紹介を行い、第2回は（1月19日実施、出席者44人）「死亡事例から考える機関連携」をテーマに講演会を集合・オンライン併用で行いました。 ◆連携調整部会は、児童相談所と区役所が参加し、毎月1回実施しました。うち年3回（4か月毎に1回）は多摩区内の要保護・要支援児童・特定妊婦の全ケースについて確認を行いました。	◆区代表者部会第2回目では、初めてハイブリットでの開催を実施し、多くの方から参加をいただきました。また、機関連携の重要性や早期発見、早期対応の重要性の理解が深まりました。 ◆連携調整部会では、パソコンを持参し、ペーパーレス化を推進しました。ケース支援に滞りがないよう内容確認を行い、情報共有をより強化することができました。	◆参加者から、要保護児童対策地域協議会の支援対象ケースにおける機関連携の重要性が大変理解できた、との声が聞かれました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	63	多摩区幼保小連携事業	区内の幼稚園・保育所等・小学校の職員が連絡会議や交流事業を通し、相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進めています。	保育所等・地域連携担当	◆令和4年度に文部科学省で策定された「幼保小架け橋プログラム」に基づき、各種連絡会、職員交流、こども交流などを行い架け橋期を通して育てたい子どもの姿を共有し架け橋期のカリキュラム作成に向けての取組を継続して行いました。また年度が変わって担当が変わっても継続していくことができる体制の構築について特に小学校には学校全体で取組を進めていけるように働きかけを行いました。	◆令和6年度に「幼保小架け橋プログラム」の取組を強化していくため公民保育所の発意で「幼保小接続の向上につながる会」が発足し職員・こども交流など行事の交流だけでなく架け橋期の視点で職員研修を実施する小学校が増えてくるなど意識が格段に向上しました。	◆「幼保小架け橋期のカリキュラム」作成に向けて架け橋の視点で各種連絡会を通して意見交換を継続してきた結果、幼稚園、認定こども園、民間保育園の職員からも保育・教育内容の更なる相互理解につながったとの御意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	64	民営保育所・保育施設等への訪問・連携	区の施策や行政の情報提供及び各種研修、会議を実施し、保育の質の向上を図ります。地域の保育所等の状況等を把握するとともに相談に応じたり、関係機関との連携を図る等、地域の子ども・子育て支援機能の強化をめざします。	保育所等・地域連携担当	◆区内92園に合計317回の訪問を行い、463件の相談対応を行いました。出張講座には330人、交流（保育交流・職員交流）は2,069人の参加があり連携を深めることが出来ました。 ◆公開保育は公立・民間園で合わせて12回実施し175人、事例検討研修には93人参加がありました。	◆区内保育所等施設および保育所等に通う園児、その保護者、ならびに地域の子育て家庭からの相談対応および支援を担う部署としてこれまでの取組に対し着実な成果として評価しています。	◆区内保育所等施設からは、様々な相談支援に対応、支援を行っていることについて、「心強い存在である。」また「連携連絡会、研修等を通した実践的、対話的な交流が保育の質の向上にもつながる」とご意見をいただいております。	3 目標を ほぼ達成
子ども・子育て	65	多摩区子育て支援会議	地域の子育て支援に向けた活動を幅広く展開している行政機関、市民団体・グループが、活動や事業について情報交換を行い、子育て中の親子を取り巻く状況と課題を共通認識し、ネットワーク化を図って課題解決をめざします。	生涯学習支援課	◆多摩区子育て支援会議を年2回（9月5日、2月6日）開催しました。本会議では、地域の子育て支援に携わる行政、市民団体、グループが集まり、現状や課題について共有するとともに、情報交換を行いました。 ◆子育て支援に関する行政・団体等の情報を掲載した、パンフレット「多摩区で子育て」を発行しました。	◆各団体の実際に現場に関わっている担当者から活動状況を報告し合い、より良い子育て環境を構築するための意見交換を深める場となっています。 ◆行政や市民団体などが提供する子育て支援に関する情報を掲載したパンフレット「多摩区で子育て」は、年間を通じていつでも手に取れるように配架しています。このパンフレットは、初めて子育てをする保護者が地域の子育て支援施設やサービスを知るきっかけとして役立っています。	—	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	66	地域ケア会議（個別ケア会議、地域ケア圏域会議、相談支援・ケアマネジメント会議）	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に図ります。	高齢・障害課	◆前年度に引き続き、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組みました。また、区では、各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題の把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みました。	◆相談支援・ケアマネジメント会議や地域ケア圏域会議についての参加を通じ、地域包括支援ネットワークの構築に取り組むとともに各地域の特性や課題を把握することができました。また、特に地域ケア会議（個別ケア会議）に関しては関係機関との連携や高齢者の課題の共有等丁寧に行い、多様な分野からの助言を得て支援の方向性を検討することに繋がりました。	◆（関係機関からの意見として）高齢者の課題については、家族の状況等、複合的な課題を抱えていることが多く、様々な分野から支援の方法を検討することが必要であるという意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成
高齢者・障がい者	67	多摩区在宅療養推進協議会	在宅医療の推進役として配置された在宅療養調整医師が中心となり、地域の実情に応じた在宅医療・介護に関わる多職種連携の強化、在宅療養者に対する体系的な支援体制の構築、在宅医療の正しい知識と理解の浸透をめざした普及啓発を行います。	高齢・障害課	◆11月29日「認知症の早期診断と治療・ケアについて」、かわさき記念病院長の長濱康弘院長にご講話していただきました。昨年に引き続き「認知症」をテーマとし、市内唯一の認知症専門病院として、多職種支援の事例も含めた市民向けセミナーを行いました。参加市民は56人でした。	◆市民向けセミナー開催に向け、テーマ、講演者、場所の選定、チラシ作成、配布物、当日の運営等について、全体会及び役割分担別打合せ等を行うことで円滑に開催することができました。	◆市民向けセミナーに関するアンケート（回答者55人）では、全体の9割以上が「大変良かった、良かった」を選択され、多くの方から内容の分かり易さや「もっと話を聞きたかった」等肯定的な意見をいただきました。	3 目標を ほぼ達成

分野	事業番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の達成度
高齢者・障がい者	68	多摩区地域自立支援協議会	障がい者と家族が地域で安心して生活できるよう、障がいに関する普及啓発、社会資源の開発、支援技術の向上に取り組みます。相談支援事業を始めとする地域の障がい福祉関係機関の連携の強化をめざします。	高齢・障害課	◆年12回の企画運営会議、年1回の定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等を開催し、障害に関する普及啓発、支援技術の向上等に取り組みました。	◆企画運営会議、定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等の開催を通じて、障害に関する普及啓発、支援技術の向上に繋げるとともに、相談支援事業者をはじめとする障害福祉関係機関の連携の強化を図ることができました。	◆（参加団体からの意見として）企画運営会議、定例会、相談支援事業所連絡会、地域包括支援センターとの連絡会等に参加し、障害福祉関係機関との連携の強化や高齢福祉関係機関との事例検討を通じて、求められる支援に対する各機関の考えを知ることができました。	3 目標をほぼ達成
高齢者・障がい者	69	多摩区精神保健福祉連絡会議	医療、保健、福祉、教育等各分野の委員で構成され、精神保健福祉に関して、区内の活動ネットワークを構築し、地域における課題を共有するとともに、こころの健康に関する課題解決に向けて、講演会等の普及啓発に取り組みます。	高齢・障害課	◆前年度、「これって依存」をテーマにゲームやSNS依存に関して若者のメンタルヘルスに関する講演会を実施しましたが、「若者へのメンタルヘルス不調の早期発見・早期治療になかなかつながらない課題」も明らかになって来ました。そこで、さらに孤立する若者のメンタルヘルスの理解を深め、また、当事者の社会参加の機会創出の一つとして、当事者が制作した絵画や書道・手芸・陶芸等の作品展と、精神科病院や各支援事業の活動の様子を紹介するパネル展示を行いました。	◆市民館ギャラリーで、当事者が作成した作品を展示したことで、当事者の活動の場が広がり、当事者の社会参加に繋がりました。また、作品展に合わせて、精神保健福祉に関する各支援関係機関の掲示も行ったことで、メンタルヘルスの問題と支援機関は身近なことであることを市民の方が知る機会となりました。	◆多摩区精神保健福祉連絡会議の委員からは、当事者の活動の場が広がっただけでなく、市民にも広く当事者の社会参加と、精神保健福祉に関する支援について知る機会にもなったとの御意見を頂きました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	70	多摩区支え合いのまちづくり推進会議	多摩区地域包括ケアシステム推進のため、地域ニーズや課題の共有、区地域福祉計画の策定と事業評価について各種団体の代表者と意見交換を行います。	地域ケア推進課	◆多摩区支え合いのまちづくり推進会議を年2回開催しました（6月27日、3月16日）。	◆第7期多摩区地域福祉計画の評価、地域とのつながりづくりを促すイベントの効果的な実施及び、第8期多摩区地域福祉計画の方向性について、各委員から意見を伺うことができました。 ◆多摩区の地域包括ケアシステムの推進にあたり、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見を伺うことができました。	-	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	71	区・地区社会福祉協議会との連携	区役所と区・地区社会福祉協議会が連携し、子ども・高齢者・障がい者等の各分野の情報共有や各主催事業での協力体制を図りながら、地域福祉を推進していきます。	地域ケア推進課	◆区における5地区の地域づくりの取組（No.47参照）及び地ケアフォーラムでの連携や、地域ケア推進課・地域支援課主催の5地区合同定例会において情報共有を実施しました。	◆地域福祉活動を進めるにあたり、区役所及び区社会福祉協議会の事業・取組について情報共有を行うなど必要な連携を図ることができました。	◆区社会福祉協議会から、中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会において「関心の高い水害避難のテーマは興味深く、住民の皆さんが近所で避難先となりそうな場所の把握や、ご近所同士顔見知りになる避難訓練等の活動につながるとうよいと思いました」との意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	72	庁内の各種連携会議	「多摩区地域包括ケア推進本部会議」「コミュニティ検討部会」等の庁内会議を活用して、地域情報や各所管課が実施する事業や課題について共有し、連携を強化します。	地域ケア推進課	◆区地域包括ケアシステム推進本部会議を年2回開催しました（7月30日、3月25日）。	◆区地域包括ケアシステム推進本部において、区における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組や区地域福祉計画について情報共有を図ることができました。	-	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	73	多摩区健康づくり推進連絡会議	「かわさき健康づくり21」の推進とともに、健康づくり推進のネットワークづくりをめざします。	地域支援課	◆多摩区健康づくり推進連絡会議を年2回（7月、2月）に実施しました。医師会、薬剤師会、商店街連合会、区内小中学校長、大学教授等が参加し、令和4年からのテーマである「高血圧予防」について、それぞれの機関と連携し血圧手帳や高血圧予防ニュースの配布に取り組むとともに、生活習慣の改善をテーマにした講演会を5回実施しました。第2回目の会議では、4年間の取組の評価を実施しました。	◆多摩区の健康づくり事業や介護予防事業において統一したテーマで取り組みました。様々な切り口で、幅広く普及啓発を行うことにより、市民への予防行動の動機づけにつながりました。 ◆特定健診のデータ分析では、高血圧ハイリスク者の割合の低下、生活習慣の改善が認められる結果となり、4年間の取組についての効果を確認できました。	◆血圧手帳を使用している区民からは、「使いやすい」「今後も継続して使いたい」という感想を頂きました。また、委員の医師が勤務しているクリニックでは、血圧手帳を持参して診察に来る患者が増えてきたことを聞きました。委員の大学教授からは、データ分析や血圧手帳等媒体の配布数から、多摩区における高血圧予防の効果が認められる結果となったと講評を頂きました。	3 目標をほぼ達成
地域・防災・暮らし	74	多摩区食育推進分科会	地域の食に関する課題や取組について、地域の様々な関係団体と協働して食育を推進するために必要な検討及び情報共有等を行います。川崎市食育推進計画の推進とともに、地域特性を活かした食育推進のネットワークづくりをめざします。	地域支援課	◆食育推進分科会を年2回（8月、2月）に実施しました。多摩区健康づくり推進連絡会議と連動して「食からの高血圧予防～野菜摂取量増加～」とし、栄養士会、保育園・小学校・中学校栄養士、幼稚園協会、小売店、食品衛生協会、食生活改善推進員等が参加し、地域での効果的な推進方法、それぞれの所属でできること、委員同士の連携について意見交換しました。取組としては①アトリウムや図書館でのポスター展示の普及啓発②ベジチェック（機器による推定野菜摂取量を測定）を生活習慣病予防講座で実施し、野菜摂取を啓発（成人75人、乳幼児5人）③出前講座等での啓発（計9回、187人）、マタニティ食育体験（だしの試飲）を毎月実施（385人の参加）④食育推進分科会委員団体同士の連携によるイベント開催を実施しました。	◆自然と健康になれる食環境づくりの推進を意識して、アトリウムや図書館でのパネル展示の機会を増やしました。また、食生活改善推進員とともに、6月・9月に食育キャンペーンを行い、区役所来庁者にレシピなどの啓発物を配布しました。 ◆食育推進分科会委員所属団体同士の連携ができました。	◆食育推進分科会委員からは「他団体との交流、意見交換ができたことはとても良かった」「4年間前向きに取り組むことができた」「次年度以降構成団体での連携した食企画の実施ができたらい」という意見が出ました。図書館でポスター掲示などの普及啓発を行った際には、「健康関連圖書の貸出数が増えた」と図書館職員から話がありました。マタニティ食育体験教室に参加された方からは「だしの試飲をしたことで、減塩の意識が高まった」と感想を頂きました。	3 目標をほぼ達成

分野	事業 番号	取組・事業名	具体的内容	所管	令和7年度の取組状況	令和7年度の取組状況に対する 区役所の評価	令和7年度の取組状況に対する 連携した団体・区民等の評価や意見	事業の 達成度
地域・防 災・暮らし	75	関係営業施設との連携	食品衛生協会、理美容組合、営業施設、動物愛護ボランティア等との連携による地域づくりを推進します。	衛生課	◆多摩区食品衛生協会と連携して区民向けに食品衛生についての啓発を行いました。 ◆動物愛護ボランティアと協力し、区役所内でペットの防災展を行いました。	◆8月の食品衛生月間に衛生課窓口や多摩区食品衛生協会において食中毒予防の啓発チラシ配布を実施しました。 ◆2月にペット防災展に動物愛護ボランティアと参加し啓発活動を行いました。	◆ペットの防災展の来庁者からは、「国のガイドラインのボリュームが多すぎて読みにくいので防災手帳やチラシは助かる」との感想を頂きました。	3 目標を ほぼ達成